

(2024. 4. 9 厚生文教常任委員会資料)

公立芽室病院におけるLED化の推進について

公立芽室病院

1. 現状

当院には2,642本の蛍光灯があり、蛍光灯だけで年間約26百万円の電気料がかかっているが、全てをLED化するには、高額な経費がかかる。

今般、民間事業者から、リース方式にて全ての蛍光灯をLED化する提案があった。提案では、リース料金が828千円/月かかるものの、月々の電気料金は911千円/月削減になるものである。(7年リース、その後はリース料金不要)

電気料金は上昇傾向にあり、経費削減のためには、早期のLED化が望まれる。

なお、公共施設等全体の二酸化炭素排出量のうち、公立芽室病院は約21%を占めており、環境負荷軽減の観点からも、LED化は効果的である。

2. 検討

現在国においても、公共施設等の脱炭素化は強力に進めており、有利な地方債(公共施設等適正管理推進事業債)もあることから、リース方式にするか、地方債にするかを早急に決定し、補正予算の提案をしていきたいと考えている。

なお、LED化により、17t-CO₂/年の削減が見込まれる。